

トマト・さくら新聞

初春のお慶び申し上げます



社会福祉法人こしば福祉会

理事長 小柴眞治

トマト・さくらのご利用者・ご家族の皆様には、ご健勝で新しい年をお迎えされたことを心からお慶び申し上げます。

政府は天皇陛下の退位日を2019年4月30日、皇太子さまが翌5月1日即位するとする政令を決定しました。

振り返って見ますと、昭和は戦争と敗戦による復興と平和、平成はバブルの崩壊と停滞、大きな地震、津波、台風等災害多発の時代、世界は冷戦の終わりとソ連の崩壊、中国の台頭等に集約されますが、来年5月から、新天皇の御代には新しい期待をしたいものです。

政治経済でも、イギリス、ドイツ等欧州の政治の不安定、トランプ大統領による視界不良のなか、貧困や難民の増大、テロによる多くの犠牲者の発生、北朝鮮の脅威、TPP、北方領土問題等課題は山積となつています。このような情勢の中で、安倍政権は昨年12月に5年目を迎

社会福祉法人こしば福祉会
介護老人保健施設
トマト
サービス付き高齢者向け住宅
さくら
三重県津市殿村860-2
電話059-237-5050
FAX059-237-5650
http://www.tomato.or.jp



え、従来高齢者を中心とした医療と介護、生活保護等からの社会保障政策を転換して、保育所や幼稚園の無償化を2兆円もの税金を振り向ける政策を発表しました。

国は介護保険を平成27年8月から介護保険サービス利用料の自己負担を、年間収入280万円

(夫婦で359万円)以上の人は2割に引き上げました。同28年は遺族・障害年金の従来の非課税年金も加算されました。さらに

今年8月から年収340万円(夫婦で463万円)以上の人の自己負担は3割に引き上げられます。

トマトでも10人程の利用者が既に2割負担の対象となつています。8月から数名の利用者が3割負担を余儀なくされることになり

ます。その他昨年4月から要支援の人の訪問介護は介護保険から分離して津市の介護予防・日常生活支援総合事業に移管も

されています。今年の4月には定例の介護報酬の改訂が実施されます。3年前はマイナス改訂であつたため、近年の看護・介

護職員の人材不足、良質なサービスの提供のためには、魅力ある介護職場と経営の安定化が不可欠として6年振りに54%のプラス改訂を決めました。国は「制度の持続可能性を高める観点から不断の見直しが必要だ」としており、介護老人保健施設

トマトの経営もさらに緊張感をもつて対応する必要があります。こしば福祉会におきましては、介護老人保健施設トマトが開業24年を経過しました。隣接する高齢者が低料金で快適にご利用いただけるサービス付き高齢者向け住宅・有料老人ホーム「さくら」を両輪として、全職員が「初心忘るべからず」の気持ちでまごころを込めた介護サービスを提供し、利用者様や地域の皆様から信頼される「こしば福祉会」として、これからも真摯な努力を重ねて参ります。

ご利用者様、ご家族様、地域の皆様、今年もよろしくご指導・ご支援をお願い申し上げます。

ご支援をお願い申し上げます。

理事・施設長 大森 俊



平成5年介護老人保健施設トマトが開設された当時の介護報

酬は医療保険で対応されていました。2000年(平成12年)現在の介護保険制度が発足し、介護保険から支払われるようになりましした。その後幾たびか居住費、食費の利用者負担、或いは利用者負担の1割負担が2割となり、今年の8月からは3割負担となるなど利用者にとって大きな見直しを実施されるなど様々な改革が行われています。施設側としても、利用者の超高齢化とともに介護度の重度化に対応できるケアが求められ、職員人材の確保、資質の向上が必要となつてます。私も昨年6月から施設長として勤務しており、今後とも職員一人ひとりが、トマトで働けることに喜びを感じるよう、明るく働きやすい職場づくりに努めてまいります。ご家族の皆さんも何かお気づきのことがあれば、ご指摘くだされば幸いです。

今年が皆様にとって、幸多き年でありますようお願い申し上げます。

有料老人ホームさくら

管理者 川口花子



さくらは、開設6年目を迎え、体験入所を含めて40名前後の方に入居していただいています。

季節ごとに催し物や行事を開催し、また昨年10月から1階の交流スペースで、毎朝、ラジオ

体操を行っています。椅子に座つたままラジオ体操をしている方、立って足踏みをしている方など、自分に合ったラジオ体操をされています。

(皆さん、健康の大切さを実感！されているようです。)その後、参加者の皆さんで歌を歌ったりゲームをしたりして、約1時間、朝の楽しい時間を過ごしていただいています。

お正月には、さくらより「お年玉」と称して「心ばかり」と書いた平治せんべいと、「今年もよい年でありますように」とスタッフの願いを込めて書いたミニレターをお渡ししました。

近年、有料老人ホームが増加し、入居者様の獲得に厳しさが増しています。さくらは住宅型の有料老人ホームですので、その特徴を活かし、さくら独自のサービスを提供してまいります。

誕生日会慰問

毎月最終日

曜日の午後、トマトではその月にお誕生日を迎えた利用者様をお祝いするためお



誕生会を開催しています。
11月26日には奥田裕子様のグループが楽器演奏、12月24日には「愛風」様がクリスマスコンサートと題して、ギター演奏と歌をご披露いただき、聞きなれた曲も多く、一緒に口ずさんだりして楽しいひと時を過ごしていただきました。



セントヨゼフ女子学園 中学校生徒の訪問

セントヨゼフ女子学園中学校2年生の皆さんが、ボランティア活動のカリキュラムの一環として、11月18日に27名が来所し、入所者様やデイケア利用者様との交流をしていただきました。生徒の皆さんが4グループに分かれ、魚釣り、カルタ取り、紙芝居や歌と趣向を凝らした企画



で、1階、2階、3階、デイケアのフロアごとに楽しく交流していただき、利用者様には多くの笑顔が見えました。

通所リハビリより

【園芸（玉ねぎ・チューリップ）】
11月、利用者様に玉ねぎの苗を植えていただきました。春頃に収穫予定で、まだまだ先なのに、収穫が待ち遠しいですね。



また、昨年同様に今年もチューリップの球根を植えました。桜と共に花が咲き、華やかになったら花見をしたいなど、楽しみにしています。他にも、プランタに色とりどりの花を植えました。花の色合いや大きさを考慮して、植える位置を利用者様同士で相談しながら、和気あいあいとした雰囲気の中で植えました。



【フラワーアレンジメント】

12月にクリスマス用のフラワーアレンジメントを行いました。毎回、曜日を変えてたくさんご利用者様に参加していただき、ご家族様にも大変喜ばれています。フラワーアレンジメントを行った際には、事務所の窓口のカウンターにも飾ってありますのでご覧ください。



【手作りおやつ】

12月の手作りおやつは、毎年

恒例の「クリスマスケーキ」を利用者様各々に作っていただきました。

普段、料理をしない男性の方にもケーキのデコレーションを

していただきました。皆さん美味しく召し上がられて見えましたよ。



【クリスマスリース・絵馬】

通所リハビリ利用者様に12月の作品として、クリスマスリースを作成して頂きました。丸く切った画用紙に葉っぱやクリスマスに関連する飾りを張り付けました。正月の作品としては、今年の干支である犬の絵馬を作成し、新年の抱負や願い事も書いていただきました。



入所棟のお正月

お正月遊び（書初め・かるた・坊主めくり等）を通して、「昔はこんな遊びをしたな」、「あゝ正月か」など季節を感じておられました。またお正月遊びに参加していない利用者様は、ゆったりとした生活を満喫され、各々で楽しみながら生活されていきました。



「さくら」のイベント

【手作りおやつ】

11月の手作りおやつはメイプルシロップをトッピングしたホットケーキ！



今回は、フルーツの盛り合わせもあり、ちよっぴり豪華なおやつでしたよ！



【クリスマス会】

12月22日にクリスマス会を開催し、30名の入居者様が参加されました。

大正琴サークルの方による演奏、そしてクリスマスケーキにプレゼント。参加された皆さんは、視覚・聴覚・味覚でクリスマスを楽しめました。



【生け花教室】

12月は、枝若松、千両、葉ボタなどでお正月花。皆さん、



部屋に飾られ、お正月を迎える準備をされていました。

【お正月（1/1）】

今年のお年玉は、平治煎餅とメッセージカード。

メッセージは職員が利用者様個々に心を込めて書きました。



寿司祭りのご案内

毎年利用者様に好評いただいております、寿司職人を招いての「寿司まつり」を本年も開催させていただきます。



ご家族様も一緒に楽しんでいただけますので、ご参加をお待ちしています。

開催日：平成30年3月4日（日）

※時間等につきましては、別途ご案内させていただきます。

編集後記

去年今年貫く棒の如きもの健康で無事正月を迎えることができました。自分が自分の原点に立ち帰る、それが正月かもしれないですね。

富安風生
編集員一同